

西川 コミュニティだより

第49号

■発行／西川地域コミュニティ協議会

電話 0256-88-5900

■発行日／令和4年3月23日

FAX 0256-78-7544

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

自転車散歩で「お宝」さがし

西川まち歩きの会 からころ

事務局 野沢 達雄



太っ腹な店主でした。

生まれ育った柏崎での話です。

高校に入学したばかりの私は、自転車店の店先に飾ってあった新車を指さし、

「これ、月賦でもいいですか。月千円ぐらいしか払えないんですけど」

「いいよ」

ごま塩頭の店主は、油まみれの手を雑巾でぬぐいながら、少し考えてひとこと。

「きょう、乗って帰っていいよ」

前金なし、契約書なし。

いやあ、この信頼を裏切っちゃあまずいよなどと、毎月毎月、バイト代から「伊藤博文」を1枚、封筒に入れては届けたものでした。

払い終えたのは2年生の学年末だったか。



春のセール。そんなノボリが自転車店に立つと、あの『千円月賦2年払い』の愛車を思い出す。乗るよりも、磨く時間が長かった。

30年ほど前に西川に越してきて、驚いたのは自転車店の多さ。自転車好きとしてはうれしかった。越後平野のど真ん中。急坂はほとんどなく、迷路のような曾根や押付の路地でも入って行ける。

二酸化炭素を出さず、駐車場は不要。健康づくりにもいい。こんなに理にかなった乗り物はありませんね。

わが町内にも、マイ・サイクルショップがああって、息子たちの通学用から、妻の買い物用まで、何年かに1台のペースでお世話になってきました。いま使っているのもこちらで買った折りたたみ自転車。軽くていい。

パンクした、チェーンが外れた、サドルがガタつく、ブレーキが甘い……ちよつとした困りごとをすぐに解決してくれるのも、ご近所の店の強みです。

※次頁へ



▲青空に映える梅一輪(東町)



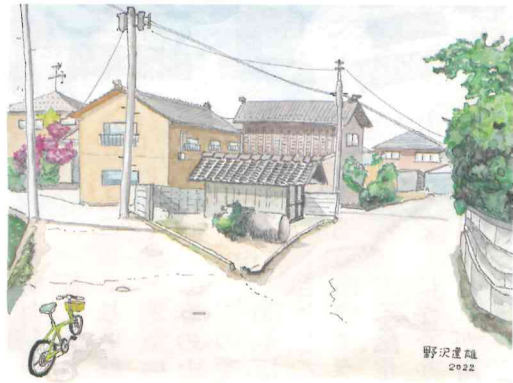
▲西川中学校卒業証書授与式(3月2日)

■西川地域の総人口:10,668名(-26名) ■男:5,158名(-12名) ■女:5,510名(-14名) ■世帯数:4,046戸(+8戸)

()は、前号との比較 (令和4年2月末日現在)

ここ数年、はまっているのがポタリング(自転車散歩)です。目的地はなし、です。空模様を見て出発。チリン。土蔵の壁を見

上げ、ひび割れに刻まれた長い時の流れを思ったり、水路が涼しげな脇道で止まって風を感じたり。手編みの帽子をかぶったお地藏さま。木漏れ日が揺れる小さなお社。。



まち歩きガイドの活動で見つけた、いくつもの「Y字路」を巡るのも楽しい。

わがまちは、クルマでは気づきにくい魅惑のスポットが多い。隠れた「お宝」たちが、「寄っておいで」と手招きしているようです。

徒歩の散歩としては少し遠くても、自転車ならスイスイ。気の向くままに角を曲がり、橋を渡る。

天気が良ければ、お隣の巻や赤塚までペダルをこぎます。どちらも片道30分以内。行った先で、ラーメンをすすり、パンを買う。

レンギョウの黄色、サクラのピンク。もう少しすれば青葉茂れる季節です。

一句ひねるもよし、スケッチするもよし。お宝探しのホームタウン再発見には、うってつけのシーズンがやってきました。

【千隈橋】

千隈橋の思い出

千隈町 内藤 裕

我が町内の名前が付いている橋、千隈橋。このたび、自治会・町内会連合会のご尽力で補修工事が実施され感謝しています。拙稿が掲載される頃は、ちょうど補修工

の真っ最中でしょうか。今の代の永久橋も架けられてすでに60年余りが経つそうですが、昭和7年生まれ

の父が若かりし20代の頃、先代の千隈橋の木製の欄干から西川に飛び込む姿が写真に残されています。

同年代の皆様には、千隈橋の近辺で川遊びをした記憶がある方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。



学校からの約束を守る良い子(?)だった私たちの年代では、護岸工事が進んでいった時期とも重なり、段々と千隈橋やその川辺は、身近で思い入れのある場所ではなくなっていました。

今は、何気なく通り過ぎていた当たり前前に在るこの橋ですが、今回の補修工事を機に、あらためて感謝の思いを心に留め置きたいと思えます。

千隈橋橋梁補修工事のお知らせとお願い

日頃より西川地域住民の皆様には、道路行政に対して多大なご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

現在、1級河川信濃川水系西川に架かる千隈橋(西蒲区鱸他地内)におきまして、以下の内容で補修工事を進めております。

工事期間中は、住民の皆様には、通行規制などでご不便をお掛けしているところですが、工事の竣工までの間、本工事につきまして多大なご理解とご協力をお願い申し上げます。

連絡先：新潟市西部地域土木事務所
TEL 0256-78-8581 (内) 8786

これと同じ防護柵(通称：欄干)がつけます。



工事概要	
工事期間	令和4年3月初旬から令和4年5月末までを工事予定。
作業時間	午前8:30~午後5:00(片側交互通行)
休工日	土曜、日曜、祝祭日 (※都合により作業をすることがあります。)
工事内容	断面修復工(橋を支える脚)、防護柵(通称：欄干)取替工、伸縮装置取替工(コンクリートの伸縮を調整する装置)

【文化】

お気に入りの作品

六分 佐藤 幸子



「花びら雛」手作りした思い出の木目込人形。一枚の絵に正面と背面を同時に収めたくて、鏡を使った構図にしました。水彩絵具と色鉛筆を使って、細かい表現に挑戦した作品。



「夕景」弥彦山と角田山の間に沈む夕陽。広がる夕焼け空。どこを切り取っても美しい。広大な景色から作品にする部分を探す心情を、白い額縁とコビト達で表現してみました。

【高校生奮闘記】

古民家を地域の居間に(6)

新潟工業高校・建築部の挑戦

私たちは12月の初めに、かのうハウスで行われた建築家・伊藤純一さんの講演会のオープニングで「さくらんぼの会」さんの傘鉾音頭と岩室甚句を踊って頂きました。岩室甚句は私たちの活動のシンボル「だいろ」が歌詞に入っているので、一度聞いてみたいと思っていました。踊りを初めて見て私は「温かい雰囲気で場が温かくなり、踊って頂き、とても良かった」と思いました。この伝統がこれからもずっと続いていって欲しいと思います。



皆様、素敵な踊りをありがとうございました。

(倉島 旭)



私は、伊藤純一さんの講演会をお聴きする前は、伊藤さんは建築家としてどのような仕事をされていらっしゃるのか疑問に思っていました。お話を聞いていくと、設計士として自身がデザインしたい事に合わせて好きな作品を作って行く、古民家で柱や梁を残して開放的な家を作ったり、またご自分で図面を描いて提案したり。



亀田袋津の町に住んでいる方々がどのような暮らしをしているかを参考にイベントを開

催して建物を残そうという活動を行っています。私たちが知る事を知りました。私はそうしたお話を聞いて、自分達も、今、曾根でこのような活動を行っているので、ぜひ参考にしたいと思いました。

(渡邊 穂高)



過去と現在、そして未来

先日、成人式が行われまし

た。今日になるまで育

ててくれた

家族、特に

変わらぬ愛

で育ててく

れた両親に

は、感謝の気持ちでいっぱいです。晴れ姿を両親に見せることで僅かな

がら、一つ親孝行をできたと思います。

成人式を終え、全員が集まることはできませんでしたが、集まれる人だけで集まり小学校、部活、色々なメンバーで写真を撮りました。懐かしい顔ぶれを見ると、楽しかった三年間が走馬灯のように浮かびます。ああでもない、こうでもない、その話何回目？そんなたわいもない話をしていたら、あつという間に時間が過ぎていました。見た目は大人になっただけ、心はあの頃に戻ったようで、なんだか不思議な感覚でした。

すでに働いている人もいれば夢の途中の人もいました。次みんなと集まれるのはいつなのか、その時は学年の先生も呼んでお酒を交わしながら話せたらな。そんな淡い期待を抱きながら夢に向かって進みたいと思います。

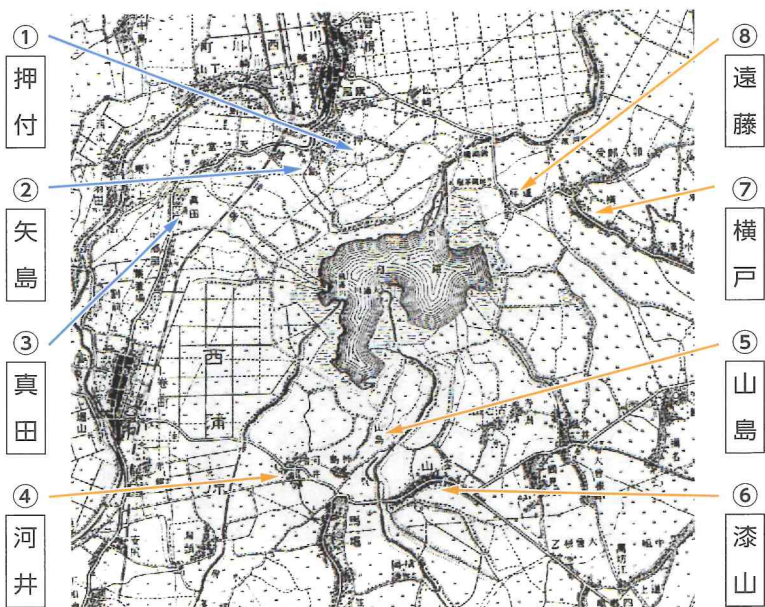


【歴史・文化】

「鑑湖八景」パート1

編集委員 榎本 博

前号で鑑潟について調べていたら、昭和9年に発行された『郷土読本』（鑑郷村教育会編）に出会うことができた。そこには、鑑郷地区に伝わる歴史や文化・人々の暮らしぶり、伝承など様々なことが掲載されていた。特に目をひいたのが、当時の鑑潟周辺の景勝地を詠んだ「鑑湖八景」である。詠まれた八景の場所を干拓前の地図で示すと左のようになる。



(干拓前の鑑潟周辺地図・国土地理院)

それでは、詠まれた短歌を番号順に紹介し、その大意を記してみたい。解説に当たっては、俳人協会会員、新潟県俳句作家協会会員で新潟日報カルチャースクール講座でもご活躍の寺尾亜真^{あま}李先生からご指導いただいた。また、写真・図版は『西蒲原土地改良史 写真編』西蒲原土地改良区編や『ありし日の鑑潟』古俣^{ちかた}近建編等を活用させていただいた。

① つまごもる八幡の森も雲晴れて

風さへ涼し押付の里



ひっそりと雲に隠れていた鑑八幡宮の森も、今は次第に晴れてきた。森は青々と緑に茂っている。森に吹き渡る風も涼しく感じられる心地よい押付の里だなあ。

押付の夏にも涼しさのある景

鑑八幡宮は、その昔奥州安倍氏の乱に呼応して蒲原地方で暴挙した黒鳥兵衛を討伐した源義家が自らの鑑を奉納祈願したと伝わる。

(以下、②から⑧は次号以降で順次掲載)

1月9日に開催された成人式に参加してきました。久しぶりに会う友人も多く、マスクとお化粧の力で、一瞬「だれっ」って思ったりもしたけど、気付いた時には懐かしさと照れくささどで嬉しくなりました。

私は二十歳になりましたが、一人でここまでこられたわけではありません。今まで私に関わってくださった全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。特に両親には感謝してもしきれません。少しずつ恩返しできたらと思っています。

この春から私は社会人としての一步を踏み出します。責任と自覚を持った行動を心がけ、前に進んでいきたいと思っています。

最後に、コロナ禍という厳しい状況にも関わらず、成人式を開催していただき、有難うございました。

見帯 上原さくら

感謝



【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ②⑥

ガンバって かいたよ!

和光幼稚園

「バラバルーン」



運動会でバラバルーンをしたよ。とっても楽しかった。またみんなでしたいな。
年長組 八木澤柚杏

「わたしのワンピース」

戦車の絵のワンピース。うさぎさんは、燃えている夢を見ているんだよ。

年中組 高橋 奨真



「ねぐせ」

ライオンさんの頭は寝癖がついてモジャモジャになっちゃたんだよ。

年少組 中野 海靖



【絵手紙】

描く楽しさ

西川老協 絵手紙部 野澤 弘

西川老協 絵手紙部は、平成15年に活動を始め、今年20年となる高齢者ぞろいの絵手紙大好き人間の会です。



紙すき研修会 すいた紙の作品は文化祭へ

創始者の小池先生の、「ヘタがいい、ヘタがいい」の言葉に引かれて集まった人達。墨と絵の具で描き送る手紙。地域での交流は、小学校での講習会や夏休みの親子絵手紙やは

り絵で喜ばれた事。巻紙や短冊に描いたり、ちぎり絵、消ゴム版画にも挑戦して、出来た作品を和気藹藹と楽しく鑑賞。

描くことが楽しいと口にする言葉は、

「なんだって、ヘタでいい ヘタがいいんだいね、アハハ」。



展示会 その後、友愛訪問のプレゼント

今年も、みんなで、がんばるモード



升瀧小学校



キラキラ縁日 「新春☆大ビンゴ大会」開催

升瀧小学校では、楽しくてワクワクするイベント「キラキラ縁日」を月一回開催しています。1月は「新春☆大ビンゴ大会」が行われました。ぬいぐるみや筆記用具、日用品など、たくさんのお景品が並びました。それらの景品は、趣旨にご賛同いただいた地域のお店などからの提供です。

「ビンゴ」子どもたちは、欲しいものをゲットできて大喜び。1年のいいスタートが切れました。今後も「キラキラ縁日」は、パワアップしていきます。

令和4年 新春校内書き初め大会

毎年恒例の「校内書き初め大会」。今年も3年生から6年生までの子どもたちが、新潟大学の岡村鉄琴先生とアシスタントの学生さんから指導をしていただきました。

それぞれの学年で、筆での表現を楽しんだり、文字のイメージを膨らませながら書いたりする活動を通して、筆を使って字を書くことの楽しさと難しさを感じることができました。

最後は先生のアドバイスを生かしながら、一文字一文字丁寧に、心を込めて書くことができました。

鎧郷小学校



新春 書き初め大会

曾根小学校では、年明けすぐに毎年恒例の書き初め大会を行いました。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆です。例年、3年生以上は体育館での実施ですが、コロナ禍のため、視聴覚教室で学年ごとに行いました。

体育館には、寺子屋時代に曾根地区で新保塾を開いた新保正与先生直筆の「のぼり」を掲げ雰囲気盛り上げました。

会場では、子どもたちは真剣な表情で一文字一文字、心と魂を込めて書きすすめていました。時折子どもたちの呼吸音が聞こえます。できあがった書に満足顔でほほ笑む子どもたちとてもよい時間を過ごすことができました。



曾根小学校



【ハワイ便り】

プレートランチとは

オーリス雪恵（六分出身）



プレートランチという言葉をご存知でしょうか。プレートランチとは、ロコ（地元の人という意味。又はローカル）がこよなく愛するB級グルメ。一つのお皿の上に、主食ごはん、付け合わせのマカロニサラダ、そしておかずのつたものがプレートランチとかわれています。おかずは様々で、人気のおかずはチキンカツ、照り焼きビーフからアメリカハンバーグ、カルビだったり多種多様。何故かは分かりませんが、ごはんは必ずアイスクリームスクーパーで盛り付けられます。定番のロコモコはごはんの上に薄いミートパティと呼ばれるハンバーグが二枚に目玉焼きとグレイビーソースがかかっているもので、これにもマカロニサラダがついてきて、プレートランチの一つとして、ロコにも観光客にも人気の食べ物となっています。

元々は、1800

年代にサトウキビ農園の労働者としてハワイにやってきた日本人、中国人、フィリピン人がランチに持ちよったお弁当のおかずを交換しあい始めたことがプレートランチのきっかけになったと言われています。きっと他の国からの人の食べ物にみんな興味津々だったのでしよう。大変な労働の合間に初めて口にする食べ物に対する興味が、やがてハワイに根づくことになるプレートランチを生み出すとは思ってもみなかったのでしょうか。



人によっては毎日食する人もいるほど人気のあるプレートランチ。今回は久しぶりにカパフル通りにある有名店、レインボードライブインにロコモコを食べに行ってきた



ました。このお店はワイキキの南東、ダイヤモンドヘッドを望めるカパフル通りに位置していて、ワイキキから歩いていける距離であることからいつもロコと観光客で賑わっています。お正月になると日本からのタレントさんなども列に並んでプレートランチを買い求める姿を見かけるほどです。

このロコモコはグレイビーソースがあまりこってりしすぎず食べやすく、ボリュームもたっぷり10ドル以内で食べられるのも人気の理由の一つかもしれません。カウンターでオーダーしたら外に設置してあるテーブルで待つことだいたい10分くらいで出来上がりです。店内にはお店オリジナルのTシャツやグッズも販売しているのでハワイの思い出に買ってよいのではないのでしょうか。

みなさんもハワイを訪れる機会があれば、ぜひプレートランチをご賞味あれ。

マハロ

【図書館】

行政書士無料相談会について

西川図書館 神林 朋実

図書館は本の貸出以外に様々なサービスや事業を行っています。その一つが、「行政書士無料相談会」です。相続や遺言、成年後見制度、エンディングノートに関して行政書士に相談することができます。

今年度は西川図書館と岩室図書館で計四回の相談会を実施し、延べ十名の参加がありました。主な相談内容は、財産や土地・家屋の相続に伴う税の問題や、遺言書の書き方等です。

行政書士には法律で厳しい守秘義務が課せられており、相談者の個人情報や秘密は固く守られます。ご家族での申込みも可能です。安心してご参加ください。

図書館は相続・遺言に関する資料も広く所蔵しており、本やデータベースを活用した調べものお手伝いもいたします。職員へお気軽にお声がけください。



【講座紹介】

健康サポート教室

鶴巻 健

新潟市が2011年～2016年迄、市内全域で健康寿命の延伸事業を開催しました。その後、新たに自主サークルとして開始したのが健康サポート教室です。現在コロナ禍の為、一部内容を変更して自体重を用いた筋トレとストレッチ

体操を、ちよつと頑張りながら楽しく行っています。筋トレをすると成長ホルモン（若返りホルモン）の分泌により筋肉量や骨量が増えて運動能力が高まります。また基礎



代謝が上がリ、太りにくく体型にメリハリがあります。健康は、元気でいるとあまり意識しないし全てではありませんが、健康を失うと全てを失う方向に舵が切られます。人生における6人の最高の医師（日光・運動・休養・食事・自信・友人）と接するよう心がけて、いつまでも健やかで生き生きとした生活を楽しませんか。

【学校教育】

「地域学習」、提案を展示

西川中学校



3月2日～14日、西川図書館1階エントランスで、1年生の「総合的な学習の時間」で西川地区に関する学習の成果を発表・展示しました。

「調べよう 考えよう 行動しよう 持続可能な西川地域のために」
う～西川地域のために～」をテーマに、地域・文化、環境・自然、教育・福祉、観光・産業の分野でまとめたものです。

「ほどよく田舎 いいところかも！」「空き地、空き家で活性化」じっくりと話しを聞いてみたくまりました。

編集後記

本号と同時に「西川地域カレンダー」も作成している。新型コロナウイルスの影響で実施日を決められない。多くの行事を掲載したいと思うが、ままならない。ウィズコロナが日常なら、もう一度暮らし方を見つめ直さなければ。自分自身で守るしか無いのかも知れない。

【編集委員】◎江端 繁◎灰野直義

近藤敏道 榎本 博 土田正博